市議会による意見を聴く会 報告書	
開催日時	令和7年5月24日（土） 午後2時～午後3時30分
開催場所	柳井市文化福祉会館 2階大会議室
テーマ	①結婚・妊娠・出産・子育て支援について ②移住・定住の促進について ③持続可能なまちづくりについて
出席委員	委員長 中川隆志 副委員長 田中晴美 委員 川崎孝昭 坂ノ井 徳 篠脇丈毅 長友光子 藤沢宏司 三島好雄 欠席 岩田優美
委員外議員	山本達也 平井保彦 平岡実千男
参加者数	全市民対象 90名
主な意見等	<p>○柳井市が他地域よりも非常に激しく人口が減っていくことや移住促進が進まないことを特性にした要因解析をどういうふうにやっているか全然見えてこない。大きいものから手を打たないと結果は出ない。日本の中でも人口が増えている地域はある。人が関係するこの物事はニーズに対応しなければいけない。できたらウオントツにやれたら結果は出る。プランAで結果が出なければプランBとして、サステナブルな対策をどう並行して打っていくかということも考えてほしい。</p> <p>○総務省や中国新聞にも出ていた関係人口という言葉が1つのキーワードになっている。柳井でも大きな施設では柳井の出身の方が力を貸している。都市に出ていった人で自分のふるさとではないが、自分の興味があるところにふるさと納税したり訪れてみたりしている人や、地方の役に立ちたいという人がたくさんいる。元岩手県会議員の高橋博之さんが考えたのが都市と地方をかき混ぜること。地域に関係のある人達、縁のある人たちに支援をいただく。こういう人たちをどんどん増やしていく。東京にいる人が柳井に来て東京の仕事をこなしながら柳井のために色んなことをやっていくということも可能な時代になっているので、関係人口ということ調べていただいて是非入れていただきたいと思う。</p> <p>○自治会長をしているが空き家問題を痛切に感じているので、空き家の取り組みに大いに期待している。空き家をお持ちの方に連</p>

絡を取った時に、空き家バンクを皆さん知らないと言う。空き家バンクに登録をしたら奨励金を出すがあるとあるが、空き家バンクをどうやって宣伝するかが必要だと思う。奨励金を出すことはとてもいいことだと思うが、今の制度は同じ自治会内でないと奨励金が出ないという。もっと広くして、他の自治会あるいは紹介した個人にも奨励金が出れば増えるのではないか。

○柳井市の人口減少の特徴はどこにあるのかということを確認にし、柳井市の現状を把握して手を打っていただきたい。対策はすべてやるわけにはいかないなので、その中で目玉となるものを打ち出してやっていくことが必要だと思う。柳井市の出生数の減少は致命的な数字で、この辺に的を絞りこまないと柳井市の人口はとんでもないことになる。柳井のスーパーで働いている人は柳井の人はいないと言う。若い人が柳井に住みたがらない。魅力がない。柳井の特徴を掴んだ対策を是非作ってほしい。

○徹底して転出の理由、転入の理由を事細かく聞くことが必要ではないか。地に足を付けたアンケートを取っていただきたい。

○先進国でも人口減少、少子化が進んでるが、欧州では人口減少対策が成功している事例もあるので調べて参考にさせていただきたい。日本中で人口が減っている中で、どこの市町村もいろんなことを考え今日出されていることをされていると思う。移住者を入れるということは多いに賛成。私は埼玉県からUターンしたが、大阪の友達も柳井市の子育て施策はいいなと言っていて、柳井市は進んでいると思う。キーワードはきっかけだと思う。空き家バンクと同様に柳井市がこういう施策をやっていることを知らない人がいっぱいいると思う。マッチングサービスやお試し住宅、全国には移住したい人はたくさんいて、市町村が取り合っている。そういう人たちに来てもらうのももちろんだけど、移住なんて考えたこともなかったけど、こんないい場所なら行ってみたい、柳井市にゆかりのない人、Iターン者を狙っていないとプラスにはならない。そのためには柳井市がやっている施策を知ってもらわないといけない。転職は当たり前のように考える時代になって、移住しようかなという感じに持っていけたら地方に流れが進

むと思う。きっかけの一つはこの施策を東京駅にでも大阪駅にでも貼ったり、電車の吊革に1週間掲示したりするだけですごくインパクトがあると思う。期間限定で柳井に観光に来てもらって移住の話をするとか、若い人に絞って交流してもらって、移住とか考えてなかった人をターゲットにすると他の市町村と取り合いにならなくていいかなと思う。

○柳井市の良さを理解して取り組まないといけない。柳井市の良さは災害が少ない、自然環境がいいという中で、環境の問題点も考えて進めてほしい。こういう会を開いてくれた議会の方に感謝を申し上げたいし、引き続きやっていただき、行政主導ではなくて、市民が動いて議員の人と一緒に柳井を変えていきたい、元気になりたい、人口を増やしていきたい。観光にも力を入れながらやっていけたらいいのではないかな。

○電車の吊革とか観光のお試しとかあったがすごくいいと思う。プラスアルファとしてSNSの活用、柳井市のインスタグラムをフォローしているけどあまり活用されていないと思う。新しくTikTokを使うと全国の人にすごい数の方の目に入っていくと思うし、そこで柳井の良さをもっとアピールできるようにしたらどうか。柳井の良さは海が近いとか自然環境とか広島が結構すぐ行ける場所にあるところだと思っていて、娯楽施設があるのが理想的ですが、広島に他の地域より少し安くいけるバスとか、下松に行くのも電車で結構な金額がかかるので若者は都会に住んでみたいなという気持ちが出る。大学も近くにないし通えないから若者が出ていくので、電車とかバスとかという交通面の支援があって、SNSとかでアピール出来たら住んでみたいなと思う。

○広島や下松に行くバスのデザインも金魚ちょうちんとか柳井ならではの、柳井の良さが伝わるようなデザインとかQRコードで読み取ったら柳井の良さが伝わる動画とか、デザインも工夫すればいろんな人に知ってもらえると思う。

○大学の話が出たが、高校に進学するときに柳井ではなくて徳山とか学力が上のところを目指そうとなると他の地域に行くと思

う。大学進学となると柳井周辺に大学がないので山口を出ていくと思う。現在柳井中とか柳井商工とかだと、バドミントンが理由で柳井市に来る人もいるので、強い印象を持たれることがあれば移住してくる人も増えてくると思う。

○柳井市は娯楽施設が少ないと思う。下松は映画館があり広島は柳井よりも発展していて楽しむところが多いと思う。広島みたいとは言わないけど、柳井市だからできる楽しいスポットとかあればいいと思う。

○半世紀ぐらい花のまちづくりをやってきて昔は盛り上がっていた。駅前今は最低ですね。現地現場、まちを輝かせればまちづくりが成功という信念でやってきた。リーダーシップをとる人は人を輝かせてください。

○スターバックスとか若者が行きたくなるような店があれば人が来ると思う。

○Uターンされた方がおられるが、大学に行ってもこの街に魅力があったら帰ってきたくなる。教育の現場でも家庭の現場でも、子供の時に過ごした親元に帰ってきたくなるという心を育てていかなければいけないのではないか。親を見捨てたり自分の住んだところに愛着を持たなかったりするような育て方ではまずいのではないか。

○私はUターンして親元にいるので人手があるが、Iターン者は、病児保育は絶対必要。関東で子供を育てるのは1人2人が限界ということが身にしみてわかったので、3人それ以上を望むのであれば、病児保育は全体必要と思う。子供を産むのは今は30代ぐらいで、大学に出るのはむしろ出たほうが柳井の良さがわかる。ずっと柳井に住んでいたならこんなに柳井がいいとは思ってなかったかもしれない。20台後半の女性が増えると出生数が増えるのではないかと思う。

○企業の農業参入の部分で、荒れ地の部分をいかに農業誘致するのか、その部分を農地に戻して企業に参入いただくというのが1つかなと思う。そのあと、そういう人が来られるということは、空き家の活用という部分につながってくるのかなというふうに思うので、この辺りが最終的な結論になるのではないかな。

○今、河村さん宮崎さん田口さんがTiktokでバズって有名になっているので、柳井で経験した人に、イベントを開いてもらい、SNSを活用して広めていけばいいと思う。

○ここに嫁いで46年になるが、柳井は温暖で災害も少なくすごくいいなと思った。今住んでいるところは限界集落で、柳井の素晴らしさをどこで発表すればいいのかな。柳井に魅力があれば何年か経ったら帰ってくると思う。それだけ魅力がないことだと思うので一人一人が考えていくことが必要だと思う。農地も空いているが若い人がやっつけける方法も考えてもいいのかなと思う。農業機械が何百万円もするので機械を買って貸し出しをする方法もいいのではないかな。農業というものはこんなにいいものだという宣伝をしたらと思う。子育ては手助けがなかったら子供を育てていけません。子育てについてももっとフォローしていくような環境を作らないと出生数は高くなっていかないと思う。

○実家が商売をしていたので戻って来られたが、他の地域の大学に転出することは見聞を広めないといけないうので仕方がないと思うか逆に推奨すべきだと思う。問題は学んだあとに戻って仕事をする場所がないということで、公務員や銀行員というところで選択肢が限られる。自分の生まれたところに愛着を持っている人はたくさんいると思うので、企業の誘致や商業施設の誘致が有効な手段になるのではないかな。

○やりたいことがあっても地元ではできないので関西や東京に出ていくのが多い。柳井にはこれがあるということがないと思うので、教育面、小中高で柳井でしかできない活動、授業というのが必要かなと思う。

○65歳で定年しUターンで帰ってきた。帰ってきた理由は自然豊かなこの地で何物にも代えられない。岩国からの海岸線CMにも出るようないい場所がたくさんあるので、そういう場所をPRして行って、環境のいいところだから住みたい、子育てもいろんな支援策があるのなら子供のためにはいい場所だという話になってくるのではないかと。そういうところをアピールしてほしい。

○岩国から勤務で柳井に20年通っている。当初は黒杭の道が悪く苦労したが今は改善され快適に通勤している。交通インフラはすごく大事と思っている。1市4町が連携していくことをまとめられているがその通りだと思う。今は車社会であるので、1市4町がしっかり連携し、人の取り合いではなく、地域のブランド力を高めるような、企業誘致や移住の推進というところで前に進めて行っていただきたい。